

第6 2期営業報告書・抜粋（平成16年4月1日～平成17年3月31日まで）

1. 営業の概況

(1) 営業の経過及び成果

当社は、当年度を生き残りをかけての再建2年目と位置づけて、受注基盤の回復、価格競争力の強化、そして社内体制の整備に取り組みました結果、概ね所期の成果を確保することができました。

先ず受注高ですが、建設部門785億円に開発部門4億円を加えた789億円となり、前期に比べて2.6%の増加となりました。建設部門受注高の工事別割合は、土木工事53.4%、建築工事46.6%、発注者別割合は官公庁38.9%、民間61.1%であります。

次に売上高につきましては、完成工事高684億円に開発部門売上高4億円を加えた688億円であり、前期に比べて7%の減少となりました。完成工事高の工事別割合は土木工事53.5%、建築工事46.5%、発注者別割合は官公庁45.6%、民間54.4%であります。

この結果、次期への繰越高は1,101億円となり、前期に比べて10.1%の増加となりました。

次に利益につきましては、売上総利益55億円、経常利益12億円となりました。経常利益は前期に比べて2.4%の減少となりましたが、これに特別損益及び法人税等を加味した当期純利益は10億円と前期に比べて30.2%の増加となりました。

(2) 会社が対処すべき課題

当社はこの2年間で再建のための基礎づくりに取り組み、漸く経営基盤の骨組みが出来上がりがつつある状況となりました。これからはさらにこれを補強し、肉付けして磐石なものに築き上げることで社会的信頼の回復に努めなければならないと認識しております。

そのためにも、縮小を続ける建設市場に対応すべく、営業戦略の見直し、施工体制の研究・補強、そして経営全般の合理化・効率化の推進により競争力改善に努めることで、持続的な収益の確保を目指してまいります。

(3) 当期における受注高、売上高及び繰越高

（単位：百万円）

| 区 分 | | 前期繰越高 | 当期受注高 | 当期売上高 | 次期繰越高 |
|------|-----|---------|--------|--------|---------|
| 建設部門 | 土 木 | 68,931 | 41,929 | 36,632 | 74,228 |
| | 建 築 | 31,130 | 36,592 | 31,806 | 35,916 |
| | 計 | 100,062 | 78,521 | 68,438 | 110,145 |
| 開発部門 | | - | 402 | 402 | - |
| 合 計 | | 100,062 | 78,924 | 68,841 | 110,145 |

（注）1．記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(4) 営業成績及び財産の状況の推移

(単位：百万円)

| 区 分 | 第59期 | 第60期 | 第61期 | 第62期(当期) |
|------------|---------|---------|--------|----------|
| 受注高 | 190,183 | 40,047 | 76,937 | 78,924 |
| 売上高 | 192,233 | 109,036 | 74,020 | 68,841 |
| 経常損益 | 3,002 | 7,141 | 1,291 | 1,260 |
| 当期純損益 | 102 | 16,477 | 773 | 1,007 |
| 1株当たり当期純損益 | 68銭 | 411円93銭 | 19円33銭 | 25円18銭 |
| 総資産 | 296,011 | 76,804 | 60,315 | 66,509 |
| 純資産 | 21,279 | 6,531 | 7,385 | 8,349 |

2. 会社の概況（平成17年3月31日現在）

（1）主要な事業内容

当社は、建設業法に基づく特定建設業者として国土交通大臣許可（特 - 14）第1700号の許可を受け、土木工事業、建築工事業並びにこれらに関連する事業を行っております。

また、宅地建物取引業者として国土交通大臣免許（11）第802号の免許を受け、不動産取引及び住宅地、マンション等の開発事業を行っております。

（2）株式の状況および大株主の状況

| | |
|-----------|---------------|
| 発行する株式の総数 | 243,065,193 株 |
| 発行済株式総数 | 40,000,000 株 |
| 株 主 数 | 4 名 |
| 大株主の状況 | |

| 株主名 | 持株数（株） | 議決権比率（％） |
|-------------------|------------|----------|
| 株式会社NIPPOコーポレーション | 31,800,000 | 79.5 |
| 近畿日本鉄道株式会社 | 5,600,000 | 14.0 |
| 株式会社ユーエフジェイ銀行 | 2,000,000 | 5.0 |
| 株式会社十六銀行 | 600,000 | 1.5 |

（3）借入先の状況

| 借入先 | 借入額（円） |
|---------------|---------------|
| 株式会社ユーエフジェイ銀行 | 240,000,000 |
| 株式会社三井住友銀行 | 240,000,000 |
| 株式会社みずほ銀行 | 240,000,000 |
| 株式会社東京三菱銀行 | 150,000,000 |
| 株式会社あおぞら銀行 | 100,000,000 |
| 株式会社十六銀行 | 30,000,000 |
| 合 計 | 1,000,000,000 |

（3）企業結合の状況

（イ）株式会社NIPPOコーポレーションとの関係

当社は、平成15年3月に株式会社NIPPOコーポレーションの子会社となり、同社から工事の発注を受けるほか当社の施工する工事の一部を同社及び同社のグループ会社に発注しております。また同社の子会社となったことに伴い新日本石油株式会社の系列下に入っております。

(ロ) 重要な子会社の状況

当社の経営に大きな影響を及ぼす子会社はありません。

(4) 従業員の状況

| 性別 | 従業員数 | 前期末比増減 | 平均年齢 | 平均勤続年数 |
|----|------|--------|--------|--------|
| 男性 | 811人 | 9人減 | 44.40歳 | 19.84年 |
| 女性 | 21人 | 4人減 | 32.76歳 | 11.58年 |
| 計 | 832人 | 13人減 | 44.11歳 | 19.63年 |

(注) 従業員数は、就業人員で表示しております

(5) 主要な営業所

本店 岐阜市宇佐南1丁目6番8号

東京本社 東京都新宿区西新宿6丁目16番6号

支店 北海道支店、東北支店(仙台市)、千葉支店、東京支店、横浜支店、名古屋支店、北陸支店(新潟市)、大阪支店、中国支店(広島市)、四国支店(高松市)、九州支店(福岡市)

営業所 国内 青森営業所ほか22カ所

海外 カイロ営業所(エジプト)ほか3カ所

技術研究所 岐阜市

(6) 取締役及び監査役の状況

| 会社における地位 | 氏名 | 担当または主な職業 |
|------------|--------|-----------------------|
| 代表取締役社長 | 佐藤 正之 | |
| 代表取締役副社長 | 日野 峻榮 | |
| 代表取締役常務取締役 | 櫻井 勲 | 建築本部長 |
| 常務取締役 | 丸山 正嗣 | 企画管理本部長 |
| 常務取締役 | 池田 征二 | 近鉄関連営業担当 |
| 常務取締役 | 後藤 凌司 | 土木本部長 |
| 監査役(常勤) | 長谷川 嘉幸 | |
| 監査役(常勤) | 安田 保 | |
| 監査役 | 関 俊朗 | 株式会社NIPPOコーポレーション経理部長 |

第 62 期貸借対照表

(平成17年3月31日現在)

| 資 産 の 部 | | 負 債 の 部 | |
|------------|--------|-----------|--------|
| | 百万円 | | 百万円 |
| 流 動 資 産 | 63,939 | 流 動 負 債 | 51,048 |
| 現金預金 | 9,898 | 支払手形 | 2,942 |
| 受取手形 | 1,861 | 工事未払金 | 16,697 |
| 完成工事未収入金 | 9,385 | 短期借入金 | 1,000 |
| 開発用不動産 | 558 | 未払金 | 978 |
| 未成工事支出金 | 36,496 | 未払法人税等 | 125 |
| 未収入金 | 5,595 | 未成工事受入金 | 27,947 |
| その他 | 339 | 完成工事補償引当金 | 95 |
| 貸倒引当金 | 196 | 工事損失引当金 | 366 |
| | | その他 | 894 |
| 固 定 資 産 | 2,570 | 固 定 負 債 | 7,112 |
| 有形固定資産 | 694 | 長期未払金 | 332 |
| 建物・構築物 | 234 | 長期繰延税金負債 | 166 |
| 機械・運搬具 | 12 | 退職給付引当金 | 6,574 |
| 工具器具・備品 | 33 | 役員退職慰労引当金 | 35 |
| 土地 | 413 | その他 | 3 |
| 無形固定資産 | 20 | | |
| 投資その他の資産 | 1,855 | 負債計 | 58,160 |
| 投資有価証券 | 1,686 | | |
| 破産債権、更生債権等 | 3,127 | 資 本 の 部 | |
| 長期営業外未収入金 | 1,900 | 資 本 金 | 2,000 |
| その他 | 371 | 資本剰余金 | 4,322 |
| 貸倒引当金 | 5,230 | 資本準備金 | 4,322 |
| | | 利益剰余金 | 1,780 |
| | | 当期末処分利益 | 1,780 |
| | | 株式等評価差額金 | 245 |
| | | | |
| | | 資本計 | 8,349 |
| 資 産 合 計 | 66,509 | 負債・資本合計 | 66,509 |

第 62 期 損 益 計 算 書

(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)

| | 百万円 | 百万円 |
|-------------------------|--------|--------|
| (経常損益の部) | | |
| 営 業 損 益 | | |
| 売 上 高 | | |
| 完 成 工 事 高 | 68,438 | |
| 開 発 部 門 売 上 高 | 402 | 68,841 |
| 売 上 原 価 | | |
| 完 成 工 事 原 価 | 63,109 | |
| 開 発 部 門 売 上 原 価 | 170 | 63,280 |
| 売 上 総 利 益 | | |
| 完 成 工 事 売 上 総 利 益 | 5,329 | |
| 開 発 部 門 売 上 総 利 益 | 231 | 5,561 |
| 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 | | 4,390 |
| 営 業 利 益 | | 1,170 |
| 営 業 外 損 益 | | |
| 営 業 外 収 益 | | |
| 受 取 利 息 ・ 配 当 金 | 56 | |
| デ リ バ テ ィ ブ 評 価 益 | 65 | |
| そ の 他 | 64 | 185 |
| 営 業 外 費 用 | | |
| 支 払 利 息 | 33 | |
| そ の 他 | 61 | 95 |
| 経 常 利 益 | | 1,260 |
| (特別損益の部) | | |
| 特 別 利 益 | | |
| 前 期 損 益 修 正 益 | 360 | |
| 固 定 資 産 売 却 益 | 38 | |
| 投 資 有 価 証 券 売 却 益 | 85 | |
| そ の 他 | 47 | 532 |
| 特 別 損 失 | | |
| 前 期 損 益 修 正 損 | 14 | |
| 固 定 資 産 売 却 損 | 13 | |
| 開 発 用 不 動 産 評 価 損 | 356 | |
| 工 事 損 失 引 当 金 繰 入 額 | 129 | |
| そ の 他 | 191 | 705 |
| 税 引 前 当 期 純 利 益 | | 1,087 |
| 法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税 | | 80 |
| 当 期 純 利 益 | | 1,007 |
| 前 期 繰 越 利 益 | | 773 |
| 当 期 未 処 分 利 益 | | 1,780 |